


資料提供	
平成24年12月10日	
 公益財団法人 鳥取県産業振興機構	
《問合せ先》 とっとり国際ビジネスセンター	0857-52-6757 担当：中江

鳥取県経済訪尼（インドネシア）団の派遣結果について

インドネシアは世界第4位の人口を擁し内需が高く経済的に安定成長してきており、県内経済界からもチャイナプラズン対象地域の一つとして注目されてきています。

このたび、同国との技術交流や共同生産、部品輸出入等取引の可能性を探るため初の経済訪尼団を派遣し、個別商談会の開催や工業団地、工作機械展示会の視察等を通じ、今後の経済交流につなげていくための一定の成果をあげました。

（協力：独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）鳥取貿易情報センター）

1 日程

12/4（火）～8（土）、5日間

月日	主な活動	宿泊
12/4（火）	〈関空→ジャカルタ〉	ジャカルタ
12/5（水）	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア共和国政府工業省高度技術産業局表敬訪問 Manufacturing Indonesia 視察（ジャカルタで開催の総合工作機械展） 鳥取県企業個別商談会開催（鍛造、建築金物、縫製加工、食品、運輸） 	同上
12/6（木）	・ジャカルタ東部の工業団地等で電機機械、食品製造企業等訪問	同上
12/7（金）	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ジャカルタ東部の工業団地等で電機機械製造企業等訪問 日本・インドネシア経済協力事業協会訪問（日本への技術研修生派遣研修機関） 〈12/7（金）夜ジャカルタ→12/8（土）朝関空着〉	機内泊

2 参加者

- ・当機構金田代表理事理事長を団長に、産学金官からなる総勢25名。
- ・うち製造企業等12社（電機機械製造、食品製造、縫製加工、建設、運輸等）

3 主な活動

（1）インドネシア共和国政府工業省表敬訪問

シャリフ・ヒダヤ高度技術産業局補佐官から、日本とは経済的に緊密で良好な状態にあり、今後の更なる投資を期待するとの発言があった。

（2）鳥取県企業個別商談会 in ジャカルタ開催

5社が新規取引の可能性を模索され（商談10件程度）、今後の取引に結びつく可能性がある商談が行われるなど一定の成果が出た。

（3）現地企業、Manufacturing Indonesia 視察訪問

現地日系企業は自動車産業を中心に300社以上がジャカルタ東部工業団地等へ進出済みであり、今回は4社を訪問。なお、現地では日系企業向けに、現在手狭となってきた工業団地を拡張あるいは新規造成中。

Manufacturing Indonesia は今年インドネシアで唯一の大規模な総合工作機械見本市（39カ国、2,400社）で、日本からはジェトロのジャパンパビリオンに20社（22小間）が出展、主に現地自動車会社への部品輸出商談を展開。

4 企業の声

- ・初めてのインドネシアであったが実際に現地を見て今後の会社の方向性が見えた。今回の商談を継続したい。
- ・海外で大いに活躍する日系企業を見て励まされた。大変良かった。
- ・インドネシアからの技術研修生受入を検討したい。

(12/5 工業省訪問)



(12/5 鳥取県企業個別商談会開催)



(12/6 ジャカルタ東部の工業団地において電機機械企業訪問)

